



～沖縄黒糖の取り組みシリーズ第1弾～  
**株式会社セブン-イレブン・沖縄にて**  
**沖縄県産黒糖を使用した5商品を販売開始**

株式会社セブン-イレブン・沖縄（本社：沖縄県那覇市、代表取締役社長：久鍋研二）は沖縄県内のセブン-イレブン102店舗にて、2021年11月30日（火）より沖縄県産黒糖商品を販売いたします。

沖縄県産黒糖につきましては、需要の拡大が喫緊の課題となっていることから、内閣府沖縄総合事務局「令和3年度沖縄県産黒糖需要拡大・安定供給体制確立実証事業」（事業受託者：（公財）流通経済研究所）による取組の一環として、今回、株式会社セブン-イレブン・沖縄において、沖縄県産黒糖を使用した商品の開発及び販売にてご協力いただくこととなりました。この度発売する商品は以下になります。

■ 発売商品概要

発売日	2021年11月30日（火）～		
商品数	5商品		
商品名/メーカー/詳細	黒いメロンパン きなこホイップ 	オリジナル商品	黒糖を練りこんだ表面のビスケット生地はザクザク、中はふわふわとした食感のメロンパンです。 パンの中にはきなこを混ぜたホイップクリームをはさみ、黒糖ときなこの風味をしっかりと感じられる商品です。 株式会社セブン-イレブン・沖縄オリジナル商品です。
	アールグレイ香る 黒糖ロールケーキ 	オリジナル商品	黒糖と相性が良いアールグレイを生地だけではなく、ホイップクリームや練乳ソースにも使用することで、華やかな香り広がるロールケーキです。 生地は米粉を使いしっかりと焼き上げることで、くちどけなめらかな食感のスポンジに仕上げました。 株式会社セブン-イレブン・沖縄のオリジナル商品です。
	ひとくち黒太鼓 	オタル製菓株式会社	北海道の老舗かりんとうメーカー「オタル製菓」の黒糖かりんとうに沖縄黒糖を使用。通常造られているかりんとうより太めで和太鼓のばちを連想されることが名前の由来。食べ応えのあるかりんとうをひとくちサイズにし、沖縄黒糖を独自の配合でたっぷり使用し、風味とコクをプラス。 北海道からやってきた沖縄黒糖かりんとうをお楽しみください。

	<p>榮太樓飴</p> 	<p>株式会社榮太樓 總本舗</p>	<p>創業 1818 年（文政元年）の老舗和菓子屋、株式会社榮太樓總本舗の黒飴。初代榮太郎が創製した梅ぼ志飴に続くロングセラー商品。沖縄黒糖との関わりは古く、小浜島と西表島の黒糖を独自の配合でブレンドし、独特のコクを出すことで飽きが来ない黒飴を創り出しています。 明治 25 年から守り続けた素朴な味わいを楽しめます。</p>
	<p>黒糖ドーナツ棒</p> 	<p>株式会社フジバンビ</p>	<p>熊本県にある株式会社フジバンビの「外はサクッと、中はしっとり」とした優しい甘さの黒糖ドーナツ棒。国産小麦の生地沖縄黒糖を練り込み、さらに沖縄黒糖で作った蜜に漬けることで、濃厚な黒糖の風味を引き出しています。西表島や与那国島など、数種類の黒糖を絶妙にブレンドして作り上げるドーナツは軽い食感と滋味深い沖縄黒糖の後味から、30 年を超えて、老若男女問わず愛される商品となっています。</p>
<p>販売店舗</p>	<p>沖縄県内のセブンイレブン店舗</p>		

### ■ 株式会社セブン-イレブン・沖縄について

株式会社セブン-イレブン・沖縄は 2019 年 7 月 11 日に那覇市内、糸満市内、豊見城市内、北谷町、八重瀬町に第一号店となる 14 店をオープンし、2021 年 8 月 19 日には 100 店舗までの出店に至りました。現在は沖縄県内に 102 店舗（2021 年 10 月末現在）を展開しています。浦添市やうるま市などに専用工場を携え、オリジナル商品の開発や質の高い商品の製造を通じ、地域ニーズに対応できるコンビニエンスストアとして沖縄県内での更なる展開を目指しています。

### ■ 沖縄県産黒糖の現状について

沖縄黒糖は沖縄県内の 8 つの離島でしか製造されておらず、離島の経済社会を支える重要な産業です。こうした中、直近 5 年間ではさとうきびの豊作が続いており、沖縄県産黒糖は増加傾向にある。一方、国内を中心とした黒糖の需要はコロナの影響もあって縮小傾向にあることから、沖縄県産黒糖の需要拡大が喫緊の課題となっています。

### ■ 「令和 3 年度沖縄県産黒糖需要拡大・安定供給体制確立実証事業」について

内閣府沖縄総合事務局「令和 3 年度沖縄県産黒糖需要拡大・安定供給体制確立実証事業」は、沖縄県産黒糖を安定供給できる体制を確立し、需要や流通等の実態を把握して構造的に分析しつつ、新たな需要先の拡大・開拓に向けて調査し、加えて適正な在庫の保管調整管理のあり方について検討し、脆弱な販売・保管調整管理部門の体制強化を推進するための事業です。

### 本件に関するお問い合わせ先

■ 公益財団法人流通経済研究所 東京都千代田区九段南 4-8-21 山脇ビル 10 階

担当：吉間（よしま）、菅原（すがわら）

TEL 03-5213-4534 FAX 03-5276-5457 MAIL [okinawakokuto@dei.or.jp](mailto:okinawakokuto@dei.or.jp)